

2018年度（第5回生）卒業論文題目一覧

| 氏名 | 論文題目 | 指導教員 |
|---------|---|---------|
| 青木 紅 寧 | 日本人の自己愛と超人思想 | 阿久戸 義 愛 |
| 石井 由 人 | 『学問のすゝめ』における福沢諭吉の平等観 | 木 村 純 二 |
| 井上 愛 香 | ボヴェーの結婚観と現代 | 出 村 みや子 |
| 大寺 文 乃 | 志賀直哉の死生観―「城の崎にて」から自己確立へ― | 木 村 純 二 |
| 大沼 勇 貴 | 阿波研造の弓道観―「射道正法」の文章構造と「射悟の妙慧」について― | 木 村 純 二 |
| 奥山 裕 太 | 人間の性格はいかにつくられるか―家庭環境と人格形成の関係について― | 吉 田 新 |
| 小山田 真依子 | 「人間的成長」とは何か―C・S・ルイス『ライオンと魔女』を中心に― | 吉 田 新 |
| 兼子 真 輝 | ヒュームの因果論について | 阿久戸 義 愛 |
| 菊地 真 奈 | E.A. ポーにおける「分身」について：『黒猫』と『ウィリアム・ウィルソン』の比較研究 | 鐸 木 道 剛 |
| 工藤 はるか | 『悪霊』に見るドストエフスキーの思想とロシア | 出 村 みや子 |
| 熊谷 みのり | 終末論と時代の変遷―「終わり」の見方 | 原 田 浩 司 |
| 齋藤 唯 夏 | 酒文化の宗教性について | 吉 田 新 |
| 佐久間 早 希 | 「ムーミン物語」から見る家族とその役割 | 鐸 木 道 剛 |
| 佐々木 萌 | 中原中也の詩に含まれる霊性：心を揺り動かすもの | 鐸 木 道 剛 |
| 佐藤 拓 也 | ハンナ・アーレント『人間の条件』における〈活動的生〉について | 川 島 堅 二 |
| 佐藤 なぎさ | 韓国キリスト教社会における臓器提供と自殺率 | 藤 原 佐和子 |
| 佐藤 希 | 比較神話学におけるギリシャ神話と日本神話の比較 | 出 村 みや子 |
| 佐藤 隆 太 | こころと体の関係―スポーツにおけるメンタルトレーニングの意義― | 吉 田 新 |
| 佐藤 怜 央 | 人種差別とスポーツ―脆弱な平等と強靱な差別― | 藤 原 佐和子 |
| 鈴木 綾 香 | 生きがいについて―神谷美恵子の生きがい論― | 木 村 純 二 |
| 瀬尾 修 平 | キリスト論の比較研究―バルト、ブルンナー、滝沢克己を中心に― | 川 島 堅 二 |
| 武澤 里 佳 | 現代社会における色彩の可能性―ストレス社会における色彩の役割について― | 吉 田 新 |
| 千葉 巴 絵 | 讃美歌と唱歌の関係について | 吉 田 新 |
| 土田 直 飛 | AIと倫理 | 藤 原 佐和子 |
| 西坂 七 海 | J.S. ミルの自由について | 阿久戸 義 愛 |
| 橋下 茉 緒 | ハラールビジネスに関する研究―2020年以降のインバウンドの増加に向けて― | 藤 原 佐和子 |
| 服部 佑 樹 | エゼキエルにおける新しい心と新しい霊―エゼキエルの回復思想とは何か | 北 博 |
| 福田 純 平 | 『オデュッセイア』における名誉観の変容 | 出 村 みや子 |
| 本名 大 祐 | アリストテレス『形而上学』における〈本質〉と〈実体〉 | 川 島 堅 二 |
| 村岡 省 吾 | バスケットボールと黒人について | 鐸 木 道 剛 |
| 山尾 涼 太 | 「男らしさ」からの脱却―男たちはどうあるべきか― | 藤 原 佐和子 |
| 渡邊 紗 彩 | クー・フリンはなぜ私たちの英雄足り得るか | 阿久戸 義 愛 |